


進路だより

発行：平成27年4月15日

1 ～卒業生による進路だより～

1回生の感動的な卒業式から、早1ヶ月、入学後の元気な声もたくさん届いています。そんな1回生の有志のみなさんが、在校生のために  を創刊しました。編集員を紹介します。

2 編集員

編集長(企画・記事執筆)

1回生 田内 萌絵

お世話になった附属に出来ることを、精一杯やります。母校愛が誰よりも強い自信があります。大学での勉強が、とても楽しみです。そう思える自分がいるのは附属のおかげ！

編集員(校正・記事執筆)

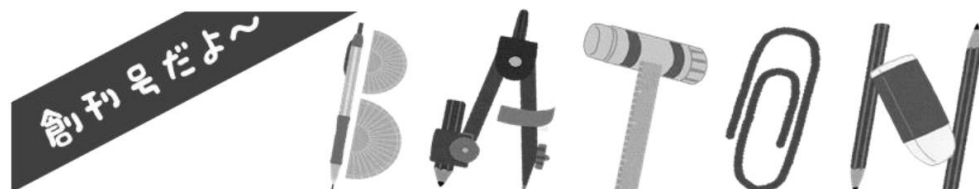
1回生 大濱 萌花

先輩からのエールが詰まったこのバトンを望遠鏡にして、まずはこの先を覗いてみてください。自分の未来を想像してみてください。さあ、走る準備はできましたか？

編集員(紙面編集)

1回生 小黒 雄介

努力は”正しく”行われないと報われないとします。BATONが”正しく”努力する道標になればと思います。まず今BATONを手にしてるあなたは”正しい”第一歩を踏み出せた人です！ぜひBATONをよろしくお願いします！



～卒業生による進路だより～

BATON 創刊！

～“BATON”に込めた思い～

この進路・受験応援企画“BATON”は、二回生以降の中等生に対し、受験勉強・大学情報を一回生の体験を元に提供する通信です。単なる大学情報や受験体験談のみならず、大学祭やオープンキャンパスのお知らせをしたり、一回生主催のキャンパスツアー(仮)を実施する予定です。積極的に情報キャッチして、自分が行きたい!と思える大学を探していきましょう。一回生は皆さんの味方です。共に頑張りましょう。

編集長あいさつ

中等生の皆さん、進級おめでとうございます。我々一回生は、「先輩がいない」「高校受験を経験していない」という厳しいハンデを負いながら、一人一人が受験に立ち向かってきました。二回生以降の後輩達には同じ苦勞をしてほしくないという思いと、進路決定の一助になればという思いから、この通信を発行することに決めました。他の情報誌にあるような内容ではなく、附属中等一回生オリジナルの内容を目指します。

また、タイトル“BATON”には、一回生から後輩達へ「繋ぐ」こと、バトンの形が数字の「1(一回生の1)」に似ているという2つの意味合いを込めています。私自身、受験期には多くの方々に支えていただきながら、自分の将来に真剣に向き合いました。皆さんも、大いに先輩に頼って、主体的に未来を切り開いていきましょう！(田内)

チャンスを掴め！

今の中等生は、小学生のときから同じ仲間と過ごしている、という人が多いと思います。私（編集長）は、それはプラスにもマイナスにもなると思います。附属という環境を抜け出し、一歩外に出て、同年代の人と関わることで、新たな世界が見えてきます。勇気を持って、応募してみよう！なお、これから紹介するのは、主に一回生の経験をもとにしたものとし、体験談も交えていきます。プログラム名を検索してみてください。今回は4月申し込み開始分を紹介します。

プログラム名	申し込み期間	開催日（第一審査）
全国物理コンテスト「物理チャレンジ」	4月1日(水)～5月31日(水)	6月19日(月) レポート提出締め切り
化学グランプリ	4月1日(水)～6月8日(月)	7月20日(月・祝)
日本生物学オリンピック	4月1日(水)～6月1日(月)	7月19日(日)
アジアサイエンスキャンプ2015	4月1日(水)～4月22日(水)	8月24日(月)～8月29日(土)

第三に、結果に応じてA0入試出願資格が得られます。一例として、生物学オリンピックで上位5%の生徒に与えられる優秀賞を獲得すると、広島大学や早稲田大学、慶應大学等のA0入試出願資格となります。進路の幅を広げる意味でも、魅力的なイベントです。参加自体は無料の場合が多いので、是非積極的に参加していただきたいと思います！

～先輩からのメッセージ～

最近本校で科学オリンピックに関する表彰が相次ぎ、関心を抱く人が増えているのではないのでしょうか。そこで今回は、科学オリンピックの魅力を紹介します。第一に、学校での学びを遥かに超えた次元で競うという点です。自分の得意分野を徹底的に追究するチャンスとなります。第二に、本選まで進むと、他校の優秀な生徒たちとの交流が可能です。私が参加した地学オリンピックの国内本選合宿には、全国の有名進学校からライバルが集

特集！ 手帳活用術

スコラ手帳・Iさんのインタビュー

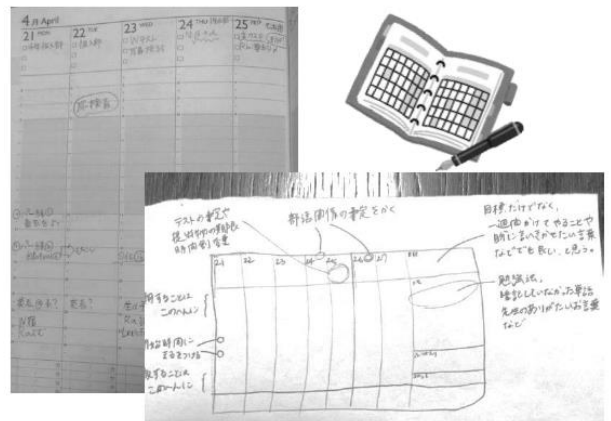
編集長：スコラ手帳の気に入っているところはどこ（以下、編）ですか？

Iさん：時間ごとの予定を書き込みやすいこと（時（以下、I）間ごとに点線入ってるから）です♪

編：確かに！予定を書けば、空いている時間が意外に多いことに気がきますよね。では、手帳を続けるコツはなんですか？

I：忘れてはならないことをメモすることと、プライベートの予定も入れて見るのが楽しくなる内容にすることと、使いたくなるように可愛く飾ることです！

編：ほう…。写真にもあるように、目標の欄も具体的に書けば、勉強のモチベーションも上がるかも！何も思いつかないときは、先生の名言を書いたり、日記を書いたり(笑) Iさん、ありがとうございました。



次回予き what is next…?

次号から、大学紹介をスタートします。第一回は神戸大学です。編集長の進学先です。お楽しみに！（編集部員の都合上、やむを得ず変更する場合があります。ご了承ください）

編集後記

編集をしていて難しいことは、オリジナリティを出すことです。他の出版物と同じ内容では意味がないですから。次回から、本格的な内容にしていきますね！大学紹介の記事が書けるように、頑張って大学生生活に慣れます！そして、いつかカラー印刷で出版したいな！！と思っています。